

2026年4月1日現在

東京大学経営協議会学外委員の選考理由

氏 名：東原 敏昭（ひがしはら としあき）

現 職：株式会社日立製作所 取締役会長 代表執行役

略 歴：1977年 3月 徳島大学工学部 卒業
1977年 4月 株式会社日立製作所 入社
1990年 9月 ボストン大学大学院(コンピュータサイエンス学科) 修了
1999年 4月 株式会社日立製作所 電力・電機グループ大みか電機本部交通システム設計部長
2000年 8月 同 電力・電機グループ情報制御システム事業部電力システム設計部長
2001年10月 同 システムソリューショングループ情報制御システム事業部電力システム本部長
2004年 4月 同 情報・通信グループ情報制御システム事業部長
2006年 4月 同 理事／情報・通信グループ COO
2007年 4月 同 執行役常務／電力グループ COO
2008年 4月 日立パワーヨーロッパ社プレジデント
2010年 4月 株式会社日立プラントテクノロジー代表執行役 執行役社長
2013年 4月 株式会社日立製作所執行役専務／医療事業担当、インフラシステムグループ長兼インフラシステム社社長
2014年 4月 同 代表執行役 執行役社長兼 COO
2014年 6月 同 取締役 代表執行役 執行役社長兼 COO
2016年 4月 同 取締役 代表執行役 執行役社長兼 CEO
2021年 5月 同 取締役 代表執行役 執行役会長兼執行役社長兼 CEO
2021年 6月 同 取締役 代表執行役 執行役会長兼 CEO
2022年 4月 同 取締役会長 代表執行役

経営協議会委員の在任年数：0年

本学との関係（総長、理事等、常勤教職員の経験）：該当なし

【選考理由】

東原 敏昭 氏は、長年培われてきたインフラ技術と高度な IT を組み合わせた社会イノベーション事業を推進する株式会社日立製作所において組織改革などに取り組み、COO、執行役社長兼 CEO 等を歴任し、2022年4月に取締役会長 代表執行役に就任している。また、日本経済団体連合会審議員会副議長を務めるとともに、日本経済団体連合会と国公私立大学のトップで構成される「博士人材に関する産学協議会合」においては、博士人材の育成・活躍推進についてご意見もいただいております。企業経営や人材育成に関する深い専門的知見と国内外の幅広いネットワーク

2026年4月1日現在

クを有している。2016年6月には、新たな産学協創スキームとして本学内に「日立東大ラボ」を設置し、Society 5.0の実現に向けて、人中心の持続可能なスマートシティの実装とエネルギーシステムの将来像の構築という二つの領域で共同研究に取り組んでおり、社会課題の解決、新たな視点の獲得や発想の転換につながる産学協創の重要性に理解と共感を示されている。

以上のように、その経歴から、同氏が経営に関する専門的知見など高い識見を有し、大学法人の経営に広く社会の多様な意見を反映させられるよう意見を述べるとともに、必要な助言を与えられること、本学の理念と目標を共有し、「世界の公共性に奉仕する大学」を目指し、その実現に貢献できること、及び本学と社会のステークホルダーの双方向的な連携を推進し、互いに共通する公共的な利益を追求できるよう尽力する意思を有することが認められる。すなわち、「東京大学経営協議会の学外委員の選考方針等について（令和3年3月18日 役員会決定）」に定める選考方針各号に掲げる事項を全て満たしていると判断できる。